

湯ノ沢岳

ゆのさわだけ

標高/963.9m



熊よけの物(ラジオ・鈴など)を必ず持ちましょう。



* 水場がほとんどないので、
飲料水を必ず持参しましょう。
* 稜線歩きでの日射病に注意しましょう。



春の湯ノ沢岳



夏の湯ノ沢岳

たたららの滝

水P

登山口
湯ノ沢ダム

至 下本郷集落

▲963.9m

湯ノ沢岳

樹間越しに月山と朝日連峰が見える。
東側は切れ落ちて展望がよい。

0:15

0:20

西側はブナ樹林

母狩山への道との分岐点

やせ尾根
急な登り

0:50

1:00

至 三俣山・母刈山へ

樹林の尾根道

● 御宝前

● 標高471m 展望よい

0:40

1:00

樹林の中へ



登山口

1000mにも満たない山にも険しい横顔を見る

山麓の集落「下本郷」から湯ノ沢岳の頂上までの道は尾根づたいに続いて見える。それは登れば道々に振り返るといつも里山が見えるということであるが、かといって低い山というわけでもない。

伝説では、弘法大師が湯殿山を開く前にまずここを開いて修行した山と言う。山中に残る遺跡も今は影を潜めているが、往時には湯ノ沢岳の拝所が御宝前まで十数か所続き、山道に入れば次々と神仏が祀られている。

さらに山頂から300m下のブナ平直下に御宝前が設けられ、湯ノ沢権現を中心に八大剛童子などがとり囲み、いわばこの世ながらの曼荼羅を構成していたという。

雑木林の中にはユキツバキが多く、エンレイソウやギンリョウソウを垣間見ることができる。

参考コース・所要時間

登山口～471mピーク～分岐点

(2時間→←1時間30分)

橋を渡りしばらくすると登山道が続く。

左手に「たたららの滝」の表示を見ながら杉林を進む。

尾根道となり雑木林の中を登ると、次第に急登の連続となり、やせ尾根になると周囲の眺望が開ける。

この後、鎖をつたって岩場を越えるとブナ帯を進み稜線にでてもまもなく分岐点となる

分岐点～山頂

(20分→←15分)

母狩山への分岐点を左へ進むと西側の斜面はブナに覆われている。

眺望を楽しみながら緩やかに進むと山頂へ到着。

下りは登り以上に注意が必要。



【登山期間】5月中旬～10月下旬

【登山口までの交通】※下本郷集落から湯ノ沢川に沿って林道を進む(車で約5分)

自動車 JR鶴岡駅～国道112号～県道349号～本郷橋～林道～湯ノ沢ダム

鶴岡市街から国道112号線または山形自動車道庄内あさひI.Cで降り、
落合から県道349号線で大鳥方面へ入り、本郷橋を渡り終え右折。
登山口案内看板より林道へ進み湯ノ沢ダム直下の林道終点に駐車場あり。
(駐車可能台数10台)所要時間:約40分

バス JR鶴岡駅から庄内交通新落合線乗車し
朝日庁舎前で下車

お問い合わせ先

★庄内交通 鶴岡営業所…TEL.0235-24-5333

【日帰り温泉】

★かたくり温泉 ぼんぼ…TEL.0235-53-3563

